

日 時：平成 27 年 6 月 23 日（火）19 時 00 分 ～21 時 00 分

場 所：高木集落会館

対象地区：高木

参加人数： 20 名

■意見交換（まち・ひと・しごと創生への取り組みについて）

内 容
<p>○駅前イルミネーションプロムナード事業について （市民からの要望・質問） 平賀だけではなく、尾上や碓ヶ関ではやらないのか。</p> <p>（市の回答） ・市制施行 10 周年の冬ねぶたの時期に合わせて、平川市を全国発信することがねらいである。平賀駅前で 11 月～1 月までの 2 か月実施する。多くの観光客を呼び込むため、尾上、碓ヶ関と分散させるよりは、1 か所で集約したい。理解してほしい。</p>
<p>○平川市情報発信事業について （市民からの要望・質問） イメージアップ戦略について知りたい。プロモーションビデオはどこが作り、どこで流すのか。</p> <p>（市の回答） ・総務課が窓口である。観光・物産・移住促進のためのイメージアップを狙いとしている。 ・先日、業者が決まって作成が始まっている。 ・首都圏でのトップセールスの時などに、市長の後ろで 3 分位のプロモーションビデオを流す予定である。平川市を PR してイメージアップを図り、知名度を上げたいと考えている。</p> <p>（市民からの要望・質問） 平川市は、最近、悪いニュースで有名になった。いいイメージにしてもらうため、アンテナショップやテレビ番組を利用するのはどうか。テレビ等に売り込んでいくためには PR の予算が少ないのではないか。</p> <p>（市の回答） ・20 分位のプロモーションビデオはあるが、立ち止まって見るには長いので、3 分位に短くして多くの人に見てもらうため、新たに作成する。 ・プロモーションビデオや運べるねぶた、女子囃子組で PR し、イメージアップを図りたい。まずは、プロモーションビデオ作成のための予算である。</p>

○プレミアム付き商品券発行事業について

(市民からの要望・質問)

過去にも尾上でやっていたが、実績はどうか。採算はとれるのか。地域の商店ではなく、大型スーパーだけで消費されるのではないか。

(市の回答)

- ・ 2億4千万円の発行額のうち、プレミアム分の4千万円は市が負担することになる。地域での消費喚起がねらいである。市の負担分は国の交付金を活用している。
- ・ 大型スーパーだけで消費されないように、プレミアム分については、限定された地域の商店でなければ使えないようになっている。

(市民からの要望・質問)

実施期間とは、商品券を売っている期間なのか、使える期間なのか。販売する時期に持ち合わせがない人は買えないのではないか。

(市の回答)

- ・ 7月4日発行で売り切れ次第終了する。12月31日まで使える。持ち合わせについては、事前に通知しているので準備をお願いする。上限は1世帯あたり10万円である。
- ・ 黒石市では3割のプレミアムということで、すぐ売り切れたようだ。地域の中でお金を循環させて経済を活性化させることを目的とした全国的な事業である。

○学力向上対策事業について

(市民からの要望・質問)

参観日の際、学習支援員がいるのを見たが、学力向上に役立っているのか疑問を感じる。

(市の回答)

- ・ 支援員は、多動症の子どもや、授業に遅れが出てきた子どもにマンツーマンで指導にあたっている。サポートをしてもらうことで、授業がスムーズに進む。全部のクラスではなく困っているクラスだけに配置している。

○地方人口ビジョンの策定について

(市民からの要望・質問)

予算が多いのではないか。

(市の回答)

- ・ 平川市の人口は2040年には22,000人位に減るという調査分析の結果がある。人口減少を食い止める対策として、専門家やアンケート調査を依頼するために必要な費用である。

■要望、質疑応答

内 容
<p>○冬のねふたについて (市民からの要望・質問)</p> <p>冬ねふたを行うことについてだが、尾上から平賀駅前まではかなりの距離があり、運ぶのが大変である。碓ヶ関のねふたは距離的に参加が不可能である。昨年も中止になっており、冬の運行は中止になる確率もリスクも大きい。ねふたは夏にやるのがいいのであって、わざわざ寒い冬に大変な思いをしてやる意義がわからない。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・当初、冬のねふたは東北新幹線全線開業記念事業ということで5年の計画であった。昨年は雪のため安全面に配慮し、中止とした。過去5年でも10回のうち、4回は中止になっている。確かにリスクが大きい。・今年度は市制施行10周年ということもあり、大みそかにねふたをやる。旧平賀町では過去に大みそかにねふたをやった。その時は全国発信された。天候不良で運行できないとしても、健康センターにねふたを置いて祭りを実施したいと考えている。・平川市の夏のねふたまつりは確かにいいのだが、青森市や五所川原市の祭りに隠れてしまう。冬のねふたに期待している。 <p>(市民からの要望・質問)</p> <p>冬は風が強い。ねふたは風に弱い。冬のねふたをやるために、町会はかなり負担をかかえている。ねふたを傷めないように七日日をやめて冬ねふたに備えたり、壊さないでそのまま保管したり、張り替えたりと大変である。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・冬のねふたを来年度からも実施するかは、各団体との協議になるので決まっていない。無理をさせて申し訳ないが、市制施行10周年ということで今年度は実施するので、協力をお願いしたい。
<p>○高木の会館について (市民からの要望・質問)</p> <p>高木集落会館は狭くて古い。耐震の問題もある。今年度解体予定の尾上公民館の跡地を利用して、早く新しい会館を建てたい。予算の措置をお願いしたい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・以前は、会館等を建てる際は町会の負担が4～6割であった。今年度からは1町会で建てる場合は、1戸につき15,000円、2町会では12,000円、3町会では10,000円が町会の負担で、あとは市が負担することとなった。町会の負担は以前より減ったが、新たに建てる際は、町会で毎戸から15,000円を集める必要がある。

- ・耐震基準ができる前に会館を建てたのは 19 町会である。耐震補強工事か、建て替えかを各町会で決めることとなる。町会負担分の予算の問題もある。
- ・面積は 300 m²が限度で、それを超える場合は町会の負担となる。
- ・近くに尾上庁舎や商工会館もある。新庁舎建設後の尾上庁舎の活用を考えることになる。商工会も職員が減っていて、商工会館の在り方について検討しているところである。その後活用するという方法もある。

(市民からの要望・質問)

町会では、新たに建てるための予算を用意している。

商工会館の件は、なかなか話が進まない。商工会の在り方を待った後の対応では遅い。早急な対策が必要なので、独自に建てなければならない。

(市の回答)

- ・町会で新たに建てるという方向で決まっているならば、順位をみて対応することとなる。
- ・高木の優先順位は 5 番目である。複数の町会で建てるのであれば、優先順位が上がる。

(市民からの要望・質問)

南田町会と話し合いをしたが、尾上農村婦人の家がなくなった際は、尾上庁舎の利用を考えているようだ。尾上町会は合同で建てることは考えていないようだった。

(市の回答)

- ・尾上公民館のところに建てる場合、高木町会が建てて、すぐ隣に尾上町会が建てることはできない。状況が変わっているので、尾上町会と話し合いをする必要がある。

(市民からの要望・質問)

尾上、南田、高木の 3 町会の話し合いが必要であるならば、市が間に入り調整するべきではないか。高木町会は 3 町会で建てたいということではない。町会長だけではなく、住民も含めた話し合いが必要となるのではないか。

駐車場の問題もあるし、1 日も早く解決したい。

(市の回答)

- ・市で話し合いの場を設けることとする。話し合いの場で、市が「3 町会で建ててください」と方向を決めることはできない。最終的には町会で決めることとなる。
- ・商工会館の件は、早くても 28 年度以降になるようだ。
- ・まずは、3 町会での話し合いの場を早急にもち、その後、各町会で方向を決めていくことにする。

○側溝・水路について

(市民からの要望・質問)

昨年要望した側溝・水路について、その後の回答は「長期総合計画に載せたい」と書い

ていた。具体的にどういうことなのかわからない。総合計画とは何か。

(市の回答)

- ・ 昨年の要望箇所について、現場を確認した。かなりの経費がかかるのですぐに対応するのは難しい。すべての町会の要望箇所を見て、優先順位をつけて対応している。予算に合わせて年次対応していく。
- ・ 長期総合計画とは、要望箇所や事業が必要となる現場を確認し、概算予算を立てる。優先順序を確認し、財源的にできる事業を計画していく。今年度に予算が足りなければ、次年度の事業となっていく。5年間の計画を毎年見直してローリングしているものである。

(市民からの要望・質問)

長期総合計画は公開しないのか。わかりやすく市民に示してほしい。要望した箇所の優先順位、具体的にいつの事業になるのか教えてほしい。

(市の回答)

- ・ 確認して町会にお知らせする。土のうが積んである旧大浪線の家に入っていく側溝・水路は27年度からの事業となっている。

(市民からの要望・質問)

尾上総合高校のあたりの道路が高くなったため、桜庭商店の前の道路は雨が降るたびに水が溢れる。以前は2本あった水路が1本になったためでもある。水路を広げる等対策をお願いします。

通学路になっているので、以前にも要望している。交通量も増えているので対応をお願いします。何十年も要望している。

(市の回答)

- ・ 土木課と現場を確認している。
- ・ もう一度、現場を確認して具体的に町会に回答する。

○県道の拡幅について

(市民からの要望・質問)

浪岡大鱈線のバイパスから尾上駅方面は県道であるが、通学路である。道路が狭くて危ない。拡幅して欲しいと要望している。国土調査が合わないからという回答があったがその後どうなっているのか。

(市の回答)

- ・ 昨年は除雪の要望があった。除雪については対応しているところである。拡幅工事となると地籍調査をした後となるので、すぐに対応するのは困難である。現在、金田小学校

のあたりを地籍調査している。地籍調査には時間がかかる。

(市民からの要望・質問)

国土調査をしなくても、普通の測量で確定できるのではないか。対象となる区域は、両側を水路ではさまれた土地になっているため、境界線の確定はそれほど難しくはないと思う。単純に地図調整できないのか。法務局で話をすれば済むことではないか。

そこは県道なので、市としてできることを示し、県に働きかけてほしい。

(市の回答)

- ・金田小学校の通学路でもあるため、PTAや学校から教育委員会にも要望があった。
- ・仮に用地を確定する測量ができたとしても、道路に歩道をつけて拡幅するには、かなりの事業費になると思う。
- ・測量が可能か建設部に検証してもらい、県に要望していくこととする。
- ・交通安全の面でも危ないので、県に要望する。引き続き、除雪に気を配るようにする。

○地籍調査について

(市民からの要望・質問)

地籍調査は尾上地域すべてをやるのか。尾上は全部ずれているのではないか。昨年も測量していたのではないか。

(市の回答)

- ・南田中と金屋ということで計画している。
- ・昨年は座標補正をした。45cm以下の誤差であれば、地籍調査は必要ないのだが、座標が足りなかった。
- ・地籍調査については、県を通して国に要望している。青森県でもまだ地籍調査が終わっていないところもあるので、2回目の調査が入るのは難しい。
- ・尾上地域全部をやるには予算が足りないので、事業に必要な個所だけをやることになる。

○議会について

(市民からの要望・質問)

議会議員選挙があるが、選挙違反の再発防止のために議会や選挙管理委員会は対策をしているのか。また、議会費が増額になっているが、要因はなにか。

(市の回答)

- ・選挙管理委員会では明るい選挙推進協議会と協力して、街頭啓発を市内3か所で行っている。また、ホームページでも啓発を行っている。
- ・議会費が増えている要因は、地方議員の年金制度の改正により、共済費が増えたためである。

○尾上公民館の隣の庭園の管理について

(市民からの要望・質問)

一般質問にもあったが、庭園は尾上地区のシンボルであると思っている。経費がかかっても、維持管理をお願いしたい。

尾上公民館の脇の40㎡くらいの草刈に市の職員が4人きていた。なぜ、狭い範囲の草刈に4人も来る必要があるのか。

(市の回答)

- ・庭園は、尾上公民館での冠婚葬祭の際に、みなさんに見てもらいたいということで残っていたと思う。尾上公民館がなくなったあとに庭園を維持していくかは、まだ結論がでていない。協議が必要である。
- ・土木課と支所で草刈をしている。他の場所も巡回して草刈をしている。そこだけの草刈のために4人いたのではない。

○愛宕神社の歴史の掲示板について

(市民からの要望・質問)

数年前、愛宕神社の歴史の掲示板が倒れた。市が回収していったが、その後掲示板が設置されなくなった。観光客も来るので設置が必要である。掲示板の所在について確認して、設置してほしい。

(市の回答)

- ・確認する。

○議員の削減について

(市民からの要望・質問)

議員の削減については考えていないのか。

(市の回答)

- ・議会で決めることとなる。市から削減しろということとはできない。